



News Release

平成18年11月1日
日立住友重機械建機クレーン株式会社

平成19年3月期 中間決算の概要

当中間期のクローラクレーン市場は前年に引続き顕著な拡大傾向に推移しました。好調な北米市場と中東市場を筆頭に海外市場は大きく拡大し、また国内需要も増加傾向にあることから、総需要は世界的な規模で急激に増加しました。

こうした需要の増加に対応するため、当社は名古屋工場の生産力の強化を図るとともに、従来日立建機株式会社土浦工場に生産委託していた機種を名古屋工場に集約し、効率的な生産体制の構築を進めました。一方で関係会社や各地域代理店との連携を軸に受注の拡大とマーケットニーズに合った新機種の投入を図りました。また中国事業強化のため日立住友重機械建機起重機（上海）有限公司へ118百万円の増資を実施しました（増資後の同社資本金は9百万人民元）。

こうした事業活動の結果、当中間期の営業成績は、連結では売上高 13,790百万円（前中間期比+29%）、経常利益 1,234百万円（前中間期比+30%）、当中間期純利益 756百万円（前中間期比+46%）となり、単体では売上高 13,746百万円（前中間期比+46%）、経常利益 1,238百万円（前中間期比+69%）、当中間期純利益 756百万円（前中間期比+90%）となり、前中間期を大きく上回りました。

海外については、主要市場である北米では宅地開発に付随した大型施設工場の増加に企業の設備投資が加わり、クレーン需要は急激に拡大しており、その結果、北米向けのクローラクレーンの売上台数は前中間期を54%上回りました。また引続き投資意欲の旺盛な中東向けの売上台数も大幅に増加しました。その他の地域も堅調に推移し、当社の当中間期の海外売上高は8,563百万円（前中間期比+90%）と前中間期を大きく上回る結果となりました。

国内市場については、企業収益の改善を背景とした民間設備投資の増加に対し、機械の稼働台数不足がより顕著になっており、クローラクレーンの新車需要は前年に引続き増加しました（前中間期比+5%）。その中で当社は積極的な顧客アプローチと営業・サービス一体での顧客フォローに注力した結果、当中間期の国内売上高は5,182百万円（前中間期比+6%）となりました。

当社は今後も拡大が続くと予想される需要に対応するため、名古屋工場の生産力をさらに強化するとともに、海外での生産も視野に増産に取り組みます。一方で海外の関係会社（北米のLink-Belt Construction Equipment Company社、欧州のHitachi Construction Machinery (Europe) N.V. 社、中国の日立住友重機械建機起重機（上海）有限公司など）や各地域代理店との連携をより強化しマーケティングと拡販に努めます。またよりいっそうの品質向上や部品サービス事業の強化などを総合的に推進することでクレーン事業のさらなる飛躍を目指します。

- 1) 総合的な生産体制の強化を進めます。
- 2) 工場・営業・サービス一体となって品質の向上に努めます。
- 3) 関係会社や代理店との連携を強化し、マーケット戦略と受注拡大を進めます。
- 4) 機種開発のスピードアップと開発品質の向上を図ります。
- 5) 部品サービス事業を強化し、安定収益の確保を図ります。
- 6) キャッシュフローを重視の事業運営を継続するとともに、内部統制の充実を図ります。

平成19年3月期 中間決算の概要

平成18年11月1日

会社名 日立住友重機械建機クレーン株式会社
 代表者 代表取締役社長 中西 英久
 問合せ先責任者 経営企画室部長 森 博文 TEL(03)3845-1386

1. 当期の業績（連結）（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

(1) 経営成績

	対前中間期		対前中間期		対前中間期		対前中間期	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	中間(当期)純利益	増減率
当中間期	百万円 13,790	% (28.6)	百万円 1,222	% (25.8)	百万円 1,234	% (30.0)	百万円 765	% (46.0)
前中間期	10,725		971		949		524	
前期	24,509		2,279		2,238		1,317	

2. 当期の業績（単体）（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

(1) 経営成績

	対前中間期		対前中間期		対前中間期		対前中間期		1株当たり	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	中間(当期)純利益	増減率	中間(当期)純利益	
当中間期	百万円 13,746	% (46.1)	百万円 1,226	% (62.0)	百万円 1,238	% (68.9)	百万円 756	% (90.4)	円	銭
前中間期	9,406		757		733		397		4,968	64
前期	22,173		1,924		1,883		1,094		13,682	70

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
当中間期	15,842	6,336	40.0	79,194	50
前中間期	11,232	4,758	42.4	59,485	83
前期	14,538	5,779	39.8	72,237	97

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
当中間期	△305	△446	125	920
前中間期	△172	△80	919	1,820
前期	1,042	△299	△350	1,546

3. 平成19年3月期の業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
(連結)通期	百万円	百万円	百万円	百万円
	31,700	2,600	2,600	1,400

4. 貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

	当中間期 （ H18. 9. 30現在 ）		前 期 （ H18. 3. 31現在 ）		増 減	前中間期 （ H17. 9. 30現在 ）	
<資 産 の 部>		%		%			%
(流動資産)	(14, 193)	89. 6	(13, 453)	92. 5	(740)	(10, 417)	92. 7
現金及び預金	920		1, 546		△ 626	1, 820	
受取手形及び売掛金	7, 708		7, 540		168	4, 845	
棚卸資産	4, 871		3, 630		1, 241	3, 350	
その他の流動資産	691		733		△ 42	396	
(固定資産)	(1, 648)	10. 4	(1, 084)	7. 5	(564)	(815)	7. 3
有形固定資産	793		653		140	316	
無形固定資産	453		157		296	58	
投資その他の資産	400		274		126	439	
資 産 合 計	15, 842	100. 0	14, 538	100. 0	1, 304	11, 232	100. 0

（単位：百万円）

	当中間期 （ H18. 9. 30現在 ）		前 期 （ H18. 3. 31現在 ）		増 減	前中間期 （ H17. 9. 30現在 ）	
<負 債 の 部>		%		%			%
(流動負債)	(9, 379)	59. 2	(8, 527)	58. 7	(852)	(6, 452)	57. 4
支払手形及び買掛金	7, 423		6, 814		609	5, 301	
その他の流動負債	1, 951		1, 709		242	1, 147	
(固定負債)	(127)	0. 8	(231)	1. 6	(△ 104)	(21)	0. 2
その他の固定負債	126		231		△ 105	21	
負 債 合 計	9, 506	60. 0	8, 759	60. 2	747	6, 473	57. 6
<資 本 の 部>							
資本金	-	-	4, 000	27. 5	-	4, 000	35. 6
資本剰余金	-	-	-	-	-	-	-
利益剰余金	-	-	1, 779	12. 2	-	758	6. 7
資 本 合 計	-	-	5, 779	39. 8	-	4, 758	42. 4
負債及び資本合計	-	-	14, 538	100. 0	-	11, 232	100. 0
<純 資 産 の 部>							
(株主資本)	(6, 335)	40. 0	(-)	-	(-)	(-)	-
資本金	4, 000		-		-	-	
資本剰余金	-		-		-	-	
利益剰余金	2, 335		-		-	-	
純 資 産 合 計	6, 335	40. 0	-	-	-	-	-
負債及び純資産合計	15, 842	100. 0	-	-	-	-	-

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

5. 損益計算書（単体）

（単位：百万円）

	当中間期 H18. 4. 1から H18. 9. 30まで		前中間期 H17. 4. 1から H17. 9. 30まで		増 減		前 期 H17. 4. 1から H18. 3. 31まで	
		%		%		%		%
〈経常損益の部〉								
（営業損益）								
売上高	13,746	100.0	9,406	100.0	4,340	46.1	22,713	100.0
売上原価	10,691	77.8	7,522	80.0	3,169		18,182	80.1
販売費及び一般管理費	1,828	13.3	1,126	12.0	702		2,606	11.5
計	12,519	91.1	8,649	92.0	3,870		20,788	91.5
営業利益	1,226	8.9	757	8.0	469	62.0	1,924	8.5
（営業外損益）								
営業外収益								
受取利息及び配当金	15	0.1	0	0.0	15		0	0.0
雑収入	4	0.0	0	0.0	4		1	0.0
計	19	0.1	0	0.0	19		2	0.0
営業外費用								
為替差損	0	0.0	0	0.0	0		0	0.0
雑損失	8	0.1	23	0.2	△15		43	0.2
計	8	0.1	23	0.2	△15		43	0.2
經常利益	1,238	9.0	733	7.8	505	68.9	1,883	8.3
〈特別損益の部〉								
特別利益	-	-	-	-	-		-	-
特別損失	-	-	-	-	-		-	-
税引前当期利益	1,238	9.0	733	7.8	505	68.9	1,883	8.3
法人税、住民税及び事業税	494	3.6	393	4.2	101		935	4.1
法人税等調整額	△12	△0.1	△57	△0.6	45		△146	△0.6
当期純利益	756	5.5	397	4.2	359	90.4	1,094	4.8
前期繰越利益	1,547	11.3	361	3.8	1,186		361	1.6
合併未処分利益受入額	-	-	-	-	-		311	1.4
当期未処分利益	2,303	16.8	758	8.1	1,545	203.8	1,767	7.8

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

6. キャッシュ・フロー計算書（単体）

（単位：百万円）

	当中間期 H18. 4. 1から H18. 9. 30まで	前中間期 H17. 4. 1から H17. 9. 30まで	前期 H17. 4. 1から H18. 3. 31まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 305	△ 172	1, 042
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 446	△ 80	△ 299
（フリーキャッシュ・フロー）	△ 751	△ 252	743
財務活動によるキャッシュ・フロー	125	919	△ 350
現金及び現金同等物の増減額	△ 625	666	392
現金及び現金同等物の期首残高	1, 546	1, 153	1, 153
現金及び現金同等物の期末残高	920	1, 820	1, 546

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。